

未来にはばたけ 希望の九小



2月

令和5年1月31日(火)

府中市立府中第九小学校

校長 生井 信太郎



学校の常識・ネットの常識

副校長 奥井 寿美子

人権尊重教育推進校としての令和4年度の研究が、まとめの時期に入っています。1月に入ってから、特別支援教室の先生方が、「インターネットによる人権侵害」についての発表を校内で行いました。ライン・メールでのやりとりについて、誤解をうける表現に気付くことができるようになった成果が発表されました。しかし、まだまだ徹底は難しいという現実的な課題もあることは否めません。

少し前の話になりますが、6月に副校長対象の人権教育研究協議会に参加いたしました。その時大変印象的だったのは、株式会社情報文化総合研究所代表取締役 佐藤佳弘先生による「インターネットによる人権侵害～ネットいじめから子どもを守れ～」のご講演でした。

被害の未然防止に必要な啓発として、「大事にしていることの違い」の対比に思わず頭を抱えました。

【学校で大事にしていること】

人に親切にすること

返事をすぐにすること

人を助けること

間違っていたら伝えること

【ネットで気を付けること】

安易に親切にしないこと

安易に即答(返信)しないこと

すぐに相談にのらないこと

指摘はすぐにしないこと

残念ながら、学校の常識はインターネットの世界では、気を付けなければならない、ということになります。これからの子供たちはこの違いをしっかりと身に付けていけない時代に入り、学校でこの違いを私達教師も指導していかなければならない時代に入ってしまったのでした。

一人一台のタブレット学習が始まり、新しい取組が出来るようになってきました。学習が広がった面もありますが、このような指導も進めていきます。

年度末に向け、卒業・入学・進級のお祝い事が増えます。初めてスマホなどをお子さんが持つご家庭もあるでしょう。現状を学校・家庭・地域がお互いに知り、話し合いながら決まりやルールを展開していければ、と思っております。